

「男女共同参画県外研修成果波及報告」

[吉田 公美]

日時	令和元年 12月 18日 (水)
場所	くまもと県北機構公立玉名中央病院
参加者	看護師長 15名
形式	パワーポイントを使用しての説明、動画視聴、アンケート
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本県 男女共同参画社会づくり地域リーダー育成事業県外研修報告を通して男女共同参画の概要の理解と女性の多い職場での取り組みの必要性の理解を得る ・令和2年度に病院内で活動グループを新たに作り、研修などを開催する活動企画案を説明し理解・賛同を得る
内容	<p>以下の内容についてパワーポイントを使用し説明した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本県 男女共同参画社会づくり地域リーダー育成事業について・研修報告 ・男女共同参画の概念・歴史について ・データでみる日本・熊本県のジェンダーギャップについて ・CM動画2本(2本で約6分)を視聴後、同じ机の職員と意見交換し、世論と海外の価値観、自身の価値観との違いについて考える ・玉名中央病院におけるR2年度「男女共同参画活動」の企画案の主旨・内容の説明 ・令和2年度の男女共同参画推進活動メンバー募集の説明 ・アンケート記入(任意)
感想等	<p>男女共同参画推進の必要性を、女性看護師が多く働く職場の管理者に理解して欲しく、師長会での報告をさせて頂いた。男女共同参画の概要は理解して頂いたと感じた。対象者の管理職は40~60歳台で、自分達も大変な思いをしながら子育てと仕事の両立に奮闘し、キャリアを築いてきた経験がある。私達が研修中に見たオムツのCM2本を見比べ、自分と世論の価値観について考えてもらった。年齢層が高いためか、アンケートの内容からもCMに対する反応は2本とも肯定的なものがやや多かった。炎上する若い世代とのジェネレーションギャップに驚きと、無意識の性差別に気づかされたとの意見もあった。当院では産休・育児休暇を利用し、仕事を継続する若い看護師も増えており、今回の研修報告が働きやすい環境作りと男女共同参画の推進に役立つといいと思った。さらに、企画案が通れば令和2年度の活動を充実させてきたいと考える。</p>



資料3 研修成果波及報告書

公立玉名中央病院における今後の活動企画

企画担当者：吉田 公美（北2階病棟看護師） 研修名「男女共同参画って？ 女、男の仕事ってなに？」	
日時：未定 17:30～18:00 場所：2階大ホール	対象者：公立玉名中央病院全職員
参加条件：特になし 興味のある職員	
コース目標： 令和2年度で3回程度の活動を検討しており、初回研修後に活動メンバーを募り今後の研修について企画する予定 職員全体の研修3回、メンバーの打ち合わせ3回程度の予定 活動全体の目標：男女共同参画についての知識を広め、働きやすい環境作りに貢献する 初回勉強会の目標： <ul style="list-style-type: none">・男女共同参画の基本的な考え方について知る・男女共同参画に関する自分や周囲の無意識の性差別について考え、気づくことができる・男女共同参画推進の必要性を認識できる・令和2年度の活動メンバーの勧誘	
主な内容：以下の内容についてパワーポイントで説明する <ul style="list-style-type: none">・熊本県 男女共同参画社会づくり地域リーダー育成事業について・男女共同参画の概念・歴史について・データでみる日本・熊本県のジェンダーギャップについて・CM動画2本(2本で約6分)を視聴後、同じ机の職員と意見交換し、世論と海外の価値観、自身の価値観との違いについて考える・令和2年度の男女共同参画推進活動メンバー募集の説明・アンケート記入(任意)	
受講者の実態： <ul style="list-style-type: none">・長机に2～3人ずつで座り正面舞台のスクリーンを視聴しながら話を聞く・途中と最後にアンケート用紙に記入をする・同じ机の職員同士で意見交換をする	
企画の意図： <ul style="list-style-type: none">・熊本県 男女共同参画社会づくり地域リーダー育成事業県外研修報告、研修後活動・働きやすい環境作りのきっかけ作り・男女共同参画の概念の伝達と自分の中にある無意識の性差別の“気づき”を広める。・R2年度 活動メンバーの勧誘	
その他：研修後の効果をどのように把握するか <ul style="list-style-type: none">・アンケート調査 無記名記述式調査(属性・男女共同参画の知識など)・5段階評価・自由記述)・アンケート回収後、単純集計・クロス集計、自由記述はKJ方にてカテゴリー化を行い今後の研修の効果的・戦略的な推進のための参考資料とする	
必要物品： パワーポイント資料・配布資料・ノート型パソコン・プロジェクター・アンケート用紙・回収箱	